

# 令和2年度の相談・救済活動の実績について

令和2年度は、882人の方から、のべ3,230件の相談が寄せられました。



相談内容の中身を細かく見てみると…

## 令和2年度 相談内容 上位3項目

### 子どもから (2,031件)

#### ① 友人関係 (357件)

- 友達にイジワルされた
- 仲間外れにされてしまった
- 友達ができない…

#### ② 親子・兄弟関係 (201件)

- きょうだいから暴力を受けている
- きょうだいと比べられる
- 両親の仲が悪い(けんかが多い)…

#### ③ 精神不安 (197件)

- 周りの目が気になる
- 将来が不安だ
- やる気が出ない…

### 大人から (1,199件)

#### ① 不登校 (234件)

- 休み明けから学校に行かなくなった
- 先生を怖がって行きたくない
- 生活リズムが崩れている…

#### ② 親子・兄弟関係 (158件)

- きょうだいいざんかが絶えない
- 子どもに暴力を振るわれる
- 子どもとの接し方がわからない…

#### ③ 養育・しつけ (146件)

- 子どもの言葉遣いが荒い
- 反抗する、言うことを聞かない
- どう伝えたらいいのか…

新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休業や、外出自粛により在宅時間が長くなったこともあり、家庭生活の悩みが多く寄せられました。また、進学やクラス替えの時期と臨時休業が重なったことで、新しい環境に馴染めないという相談も目立ちました。

## 相談事例の紹介 ※プライバシー保護のため、事例は加工して掲載しています。



学校でのいじめを理由に子どもが登校を渋るようになりました。父親が学校に相談して表立ったいじめはなくなったものの、教室に入ることができなくなってしまいました。

お子さんを交えての面談に誘い、親子面談を行ったところ、お子さんが教室登校にとっても大きな負担を感じていることがわかりました。そこで、教室に入ることだけにこだわらず、今後の取組について学校の先生方と話し合ってみることを提案しました。ご両親が学校に相談した結果、先生方が積極的に関わってくれるようになり、お子さんの表情も明るくなって、別室登校から教室登校に向けて少しずつ前に進めるようになったというご報告をいただきました。



## 調整活動について

相談だけで解決に至らない場合などは、必要に応じて、学校などの関係機関に対して事実確認を行ったり、子どもの気持ちを伝えるなど「調整活動」を行うこともできます。子どもの最善の利益のもと問題解決に向けて一緒に考えます。

## 調整活動事例の紹介 ※プライバシー保護のため、事例は加工して掲載しています。



子どもの同級生とその保護者から、嫌がらせを受けています。学校が相手の肩を持っているように感じるため、転校を考えています。

調査員が学校を訪問し、校長と教頭に相談者の訴えを説明したところ、相談者と学校との認識に隔たりを感じました。このため、学校に相談者と直接話し合う機会を設けていただき、さらに保護者同士で話し合う機会も設けていただいたことで、相談者の不安は解消しました。相談者からは「校長が親身になってくれたことで問題は解決したので、転校はやめることにしたい」とのご報告をいただきました。

